

発行 税理士法人 **中央総研**
桑名市大福 406-1
TEL 0594-23-2448
FAX 0594-23-3303
E-mail: sasaya@cri-sasaya.com
URL: http://mie-cri.com



コーポレートトランスフォーメーション

【はじめに】

今年の異常気温はいつまで続くのでしょうか！
連日、30度を優に超えています。
桑名市が、度々、日本一高温になっています。
熱中症・熱射病には気を付けて頂きたいです。
これからは、台風が襲来するたびに涼しくなっていくのでしょうか。

今月は、**コーポレートトランスフォーメーション** (Corporate Transformation) について、述べてみたいと思います。
略称で「CX」と表現されます。

【CXとは】

CXとは、『デジタル化やシステム化、クラウド化などの「デジタルトランスフォーメーション (DX)」を用いて、企業全体の仕組みを最適化し、業務の高度化実現すること』と、されています。

英語圏では、接頭辞の「Trans」を「X」と書く習慣があります。そのために、「CX」「DX」と表現するのです。

Xの使い方

CXとは	コーポレートトランスフォーメーション
DXとは	デジタルトランスフォーメーション

【変化に最も成功した富士フィルム】

日本企業で、コーポレートトランスフォーメーションに最も成功した会社が「**富士フィルム**」です。
富士フィルムは、もともと「**銀塩フィルム**」の会社です。

銀塩フィルムの世界で圧倒的なチャンピオンだったのは「**コダック**」です。

コダックは、ほとんどの特許を持っていました。

銀塩フィルムの会社	
1番手	コダック
2番手	富士フィルム
3番手	コニカ

しかし、結果的に、コダックは倒産しました。

【富士フィルム】

富士フィルムは生き残りました。

今は、医療関係の映像の会社になっています。

「銀塩フィルム」には、未来がないということで、自社の持っている要素技術、強みがどこに展開できるかを考えて、ものすごい勢いで**事業ポートフォリオを入れ替えた**のです。

銀塩フィルムへの投資をやめて、徹底的にそこからキャッシュを叩き出し、**キャッシュカウ (Cash Cow)**にして、それをどんどん新しい領域に投資していきました。

※キャッシュカウ (Cash Cow) とは、直訳すると「現金を生む牛」となりますが、ビジネス用語としては、「ドル箱・金のなる木」と云います

当然、社内的に抵抗があったと思います。

ずっと、一生懸命に銀塩フィルムをやってきましたし、全国に富士フィルムの店があった訳ですから、それを振り切って不転の決意でシフトしたのです。

イノベーションが起きたからと言って、関係会社が皆滅びる訳ではありません。

きちんと対応できる会社はあるのです。

【現場力】

日本の企業体の強さは、本質的には「**現場力**」ではないでしょうか。

問題は、その「**現場力**」を、「**どこで生かすか**」だと思えます。

「銀塩フィルム」がなくなるのに、「銀塩フィルム」をいくら磨いてもだめなのです。

圧倒的な現場力がどこで生きるかと考えた時に、富士フィルムは、「**医療**」にシフトしました。

人の命に関わって、高度な作りこみが必用で、安全な商材を作らなければいけないのです。

富士フィルムはこの「医療」にシフトしたのです。

【リーダー】

富士フィルムの、当時の社長は、**古森重隆氏**でした。
彼は、勝負する場所を、現場力が生きるフィールドに変えたのです。これを、彼はリーダーとして果敢に転換していったのです。

リーダーの技量・能力が問われます。

見事に、切り替えていきました。

《代表社員 笹谷 俊道》

「もみじ」と「楓」の違い・・・もみじは葉の切れ込みが5~6個で、6~7枚に分かれている。楓は葉の切れ込みが浅く、9~11枚に分かれている。ですが、実は根本的には同じ植物。そもそもこの2つを区別しているのは日本だけ。英語ではどちらも「Maple(メープル)」と表現されています。